

宮城県仙台第三高等学校

team 仙台三高だより

Vol. 9 令和4年1月1日発行

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19 (問い合わせ先 総務部)
電話 022(251)1246 / Fax 022(251)1247
mail: sensan@od.myswan.ed.jp



広がれ私たちの未来! ~2学年修学旅行 in つくば~



理数科・普通科: 12月9日(木)~12月10日(金) 茨城県つくば市・土浦市方面

コロナ禍においてまだ油断ができない状況の中、生徒や保護者の意見も踏まえながら協議を重ね、感染予防を万全に行った上で、理数科・普通科ともに茨城県つくば方面への修学旅行が1泊2日の日程で実施されました。昨年度は会津若松市で大学訪問やフィールドワークを行いました。今年つくばでは、我が国最大の研究拠点であるこの地を訪問することで大学での学びのビジョンや大学卒業後の進路をイメージする一助にしたいとの目的で行われました。初日午後には「みらい塾」特別宇宙講演を聴き、その後人工衛星利活用ワークショップに参加しました。2日目は、終日クラス別研修を行い、クラスの同胞意識を涵養することができました。本研修旅行を通して、生徒たちは、この機会を最大限に生かして学びや友との絆の構築に努め、有意義な時間を過ごせたようです。

クラス別研修の主な訪問先

つくばエキスポセンター、筑波宇宙センター、震ヶ浦環境科学センター、食と農の科学館、理化学研究所バイオリソースセンター、筑波実験動物園、など



〇2年7組 中島 啓太さん (桜丘中出身)

1日目は宿泊所のホテルで、デザイン思考に関する講義、2日目は筑波実験植物園とエキスポセンターへ。植物園では、今まで生で見たことのなかった食虫植物を見ることができたので、貴重な体験になりました。短い期間でも修学旅行に参加できて幸せでした。

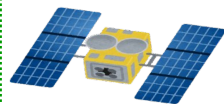


〇2年6組 田中 励真さん (八乙女中出身)

制限が解除され始めたコロナ禍での修学旅行は、いわゆる“コロナ世代”の私達にとって素晴らしい思い出となりました。どの見学地からも、発見や学びを得、普段考えたことがない視点を磨けたと思います。又、「一緒に居て楽しい」と思える仲間の大切さをクラス・学年全体で再確認した貴重な体験でした。

〇2年3組 鈴木 結衣さん (大郷中出身)

特に印象に残っているのは、1日目のワークショップです。課題解決のプロセスについて教えていただき、グループワークで人工衛星を活用した課題解決方法を考えました。こういった方法を今後の探究活動等に生かしていきたいと思いました。元々の予定候補地や日程とは変わってしまいましたが、このような状況の中、修学旅行に行くことができて良かったです。



輝かしい栄光の記録！

- 第74回宮城県高等学校生徒理科研究発表会
化学・生物・地学 全部門において最優秀賞
化学部門は部会長賞も受賞
- 税に関する高校生の作品募集 優秀賞 中村凜・渡部麗穂

文化部も頑張ってます！



夏と秋の県大会2連覇を達成した音楽部の2年生4人組バンド

「Paranormal」
(左から、田中励真・藤原丞・大田黒皓希・鈴木結衣)

↑↑ 早くも来年度の高総文祭出場が共に内定！ ↓↓

毎年の活躍が評価され、一日警察署長を務めた放送部員

左:三浦和佳(2年 台原中出身)
右:鷲見健斗(1年八木山中出身)



いじめといじりのLHR

1学年:12月10日(金)

今年も、いじめ撲滅教育の一環として「いじり」と「いじめ」の違いに関するLHRが行われました。生徒たちは、ある高校生が書いた文章を読み両者の違いに関して真剣に議論しました。自分事にして考える良いきっかけとなったようです。

○1年7組 高瀬 未空さん(富谷第二中出身)

私達の班では「いじめ」と「いじり」の違いは、されている本人が楽しんでいるか、そうではないかの違いだと意見がまとまりました。しかし、これはとても難しい事であるとも思います。いじられている本人がいくら笑っていても、それが本当の感情かどうかは本人にしか分かりません。自分の感情を隠さず伝えることも時に大切ではないかと考えます。まだ出会って8ヶ月の仲間達ですが、これからももっとと距離を縮めて良い関係を築いていきたいです。



薬物乱用防止講演会

12月3日(金)

12月3日、仙台市薬剤師会会長の北村哲治氏をお招きして、1年生を対象に薬物に関する講義を行っていただきました。

危険ドラッグのみならず、一般の薬の服用法やタバコ・アルコールの有害性など話題は多岐に及び、正しい知識を身につける有意義な時間となりました。



SSH中間報告会 授業づくりプロジェクトフォーラム 12月16日(木)

12月16日、「SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラム」が開催され、SSH事業及び本校独自の「授業づくり」の取組や成果の発表に、県内外から150名を超える方々が来校されました。開会行事では本校の授業づくりの取組が紹介され、その後の研究授業では1・2年生の授業が公開されました。その中でも特に招聘講師:立命館宇治中・高の酒井先生によるSS理系数学の授業や、本校生徒のSDGsを課題にした探究発表は多くの参加者の注目を集めていました。

さらに午後には、京都大学高等教育研究開発推進センター教授:松下佳代様から、「対話型論証で資質・能力を育成する」の演題でご講演いただきました。リテラシー・コンピューター等の能力はどう形成され評価されるべきなのかといった観点からの学びを深めることができました。

その後、各教科等に分かれての研究協議では、各校の取組や課題が話し合われたり、各参加者が授業力向上と向き合う、大変貴重な一日となりました。



マラヤ大学との発表会準備



招聘講師によるPBL型授業



京大教授による基調講演



本校教員によるICT授業



研究協議の様子

1月の予定

- 6日(木) 共通テストリハーサル(3年・～7日)
- 11日(火) 全校集会・第3回校内模試(1・2年)
- 12日(水) 第3回校内模試(2年)
- 13日(木) 第2回SS講演会
- 15日(土) 大学入学共通テスト(～16日)
- 21日(金) 2年総合学力模試
- 22日(土) 1・2年総合学力模試

